



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 元気寿司株式会社
 コード番号 9828 URL <https://www.genkisushi.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 法師人 尚史
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小瀬 力

TEL 028-632-5711

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	7,792	28.0	868		871		524	
2020年3月期第1四半期	10,823	5.5	558	23.3	556	23.6	374	45.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 531百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 350百万円 (50.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	59.42	
2020年3月期第1四半期	42.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	23,646	8,043	34.0
2020年3月期	20,481	8,574	41.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 8,043百万円 2020年3月期 8,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		0.00	15.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 2021年3月期の配当につきましては「未定」とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現時点において合理的に見積もることが困難であると判断し、2021年3月期の業績予想は未定とさせていただきます。業績への影響が合理的に予想可能となった時点で、速やかに公表する予定です。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	8,882,908 株	2020年3月期	8,882,908 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	55,021 株	2020年3月期	55,021 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	8,827,887 株	2020年3月期1Q	8,828,007 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大等の影響により、極めて厳しい状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止へ向けた各要請等が行われる状況下での来店客数の減少、消費者の生活様式の変化等の影響を大きく受けており、かつてない厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社グループといたしましては、2019年5月に発表いたしました中期経営計画2019-2021に基づき、当社の生命線であるQ・S・Cの維持・向上、「回転しない寿司」のノウハウの積み上げに取り組むとともに、お客様の生活様式の変化に伴う短期的な対応、ニューノーマルへの対応等を行ってまいりました。コロナ禍にあって一部計画を見直したものの、方針の重点項目は不変であり、引き続き、ウィズコロナ・アフターコロナの世界で成長を描くための準備を着実に進めてまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高77億9千2百万円（前年同期比28.0%減）、営業損失8億6千8百万円（前年同期は営業利益5億5千8百万円）、経常損失8億7千1百万円（前年同期は経常利益5億5千6百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失5億2千4百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益3億7千4百万円）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(国内事業)

国内事業におきましては、2020年4月の緊急事態宣言発令後、自治体からの要請等を受け、全店舗で時間短縮営業または臨時休業等の対応を行いました。また、従業員の健康チェックや、手洗い・清掃・消毒等の既存のマニュアルに沿った衛生管理を徹底するとともに、飛沫感染防止のための間仕切りの設置等の各種安全安心対策に努めてまいりました。

同時に、中長期的な基本方針である「回転しない寿司の進化と拡大」に基づき、美味しさ・楽しさ・利便性等の強化に取り組むとともに、お客様の生活様式の変化に対応し、新しい商品やサービスを適宜投入してまいりました。

商品・営業施策につきましては、寿司を中心に、高品質でお手頃な美味しい商品の開発、美味しく注文しやすい商品展開を行ってまいりました。100円の定番寿司メニューの更なる商品力向上に取り組むとともに、専門店に迫る麺類、ソフトクリームやフレッシュフルーツを使用したスイーツ等、寿司以外のメニューにおいても本物志向で臨み、他社との差別化を図ってまいりました。同時に、「2020年豪華セット」等のテイクアウト特別メニューの投入や、デリバリー対応店舗の拡大等、外出自粛に伴うお客様の生活様式の変化に対応してまいりました。

また、当社「公式アプリ」と当社オリジナル電子マネー「SushiCa」の連携や、「公式アプリ」でのテイクアウト注文機能の拡充、店頭でのテイクアウト注文専用端末の設置等、利便性向上と生産性向上に取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、「回転しない寿司」型店舗の出店方針は維持しつつ、アフターコロナを見据え、着実に出店してまいりました。また、コロナ禍において高まるお客様の衛生意識にお応えすべく、より安全安心をお届けできる店舗づくり、衛生的で安全で美味しい「回転しない寿司」の更なる進化に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、新設店3店舗を出店し、不採算店等2店舗を退店したことにより、国内の総店舗数は159店舗となりました。

この結果、国内事業の売上高は、70億8千万円（前年同期比23.4%減）、セグメント損失は5億6千8百万円（前年同期はセグメント利益2億9千2百万円）となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、テイクアウト・デリバリー需要の増加等があった一方で、時間短縮営業及び臨時休業等により店舗売上高が大幅に減少いたしました。各施策の効果等もあり、2020年2月末より低調に推移していた売上高も5月後半より徐々に回復し、6月度の既存店売上高前年同月比は91.6%となっております。

(国内事業既存店売上高推移)

	2020年1月	2020年2月	2020年3月	2020年4月	2020年5月	2020年6月
既存店売上高 前年同月比	106.9%	110.0%	82.6%	51.9%	75.8%	91.6%

(注) 詳細に関しては、当社ホームページをご参照ください。

(海外事業)

海外事業におきましては、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行拡大する中、各国の規制に従い、テイクアウトやデリバリーのみでの営業や時間短縮、臨時休業等の対応を行ってまいりました。地域により状況は異なるものの、一部地域では、感染防止策を施した上で店内飲食が再開されてきております。このような状況におきましても、子会社及び各フランチャイズパートナーと綿密に情報交換をすることで、コロナ禍での営業施策のアドバイス等を行ってまいりました。

店舗展開につきましては、1店舗を出店した一方で、7店舗を退店したことにより、海外の総店舗数は192店舗となりました。

この結果、海外事業の売上高は、7億1千1百万円（前年同期比55.1%減）、セグメント損失は8千8百万円（前年同期はセグメント利益2億5千5百万円）となりました。新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大の影響により、子会社売上高及びロイヤリティ収入等のセグメント売上高が大幅に減少いたしました。なお、売上高は子会社の売上、フランチャイズ先への食材等売却売上、フランチャイズ先からのロイヤリティ収入（売上高の一定率等）等であります。

※中期経営計画の詳細は当社ホームページ、「決算説明資料」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ31億6千4百万円増加し、236億4千6百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加21億6千3百万円、繰延税金資産の増加3億7千4百万円があったこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ36億9千6百万円増加し、156億3百万円となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定を含む）の増加36億1千4百万円があったこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億3千1百万円減少し、80億4千3百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上5億2千4百万円があったこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は7.9ポイント下降し、34.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ21億6千3百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末には56億2千9百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、4億3千3百万円（前年同四半期は5億1千7百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失8億7千1百万円による減少があった一方で、減価償却費4億6千8百万円による増加があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、7億2千7百万円（前年同四半期は3億1千9百万円）となりました。これは主に、店舗の新設等による支出7億3千6百万円があった一方で、差入保証金の回収7千7百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、33億2千9百万円（前年同四半期は7億2百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金による収入38億5千7百万円があった一方で、リース債務の返済2億8千8百万円を行ったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の今後の影響を現時点で予測することは困難なため、未定とさせていただきます。

今後、業績予想の合理的な算定が可能となった時点で、速やかに公表する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,465,271	5,629,007
売掛金	601,895	690,521
商品及び製品	418,249	334,887
原材料及び貯蔵品	129,233	140,996
その他	448,892	467,976
貸倒引当金	△7,026	△7,970
流動資産合計	5,056,515	7,255,419
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,167,760	9,388,240
土地	700,569	700,569
リース資産	7,258,702	7,434,647
その他	2,017,147	2,211,293
減価償却累計額	△9,884,776	△10,059,684
有形固定資産合計	9,259,404	9,675,067
無形固定資産	448,488	449,070
投資その他の資産		
差入保証金	3,847,454	3,922,899
その他	1,870,535	2,344,473
貸倒引当金	△791	△739
投資その他の資産合計	5,717,198	6,266,634
固定資産合計	15,425,091	16,390,771
資産合計	20,481,606	23,646,190

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,359,114	1,518,895
1年内返済予定の長期借入金	790,929	833,311
未払法人税等	360,500	351,049
賞与引当金	162,000	82,000
ポイント引当金	32,000	32,000
転貸損失引当金	7,560	7,560
資産除去債務	17,310	1,550
その他	3,592,867	3,462,141
流動負債合計	6,322,281	6,288,507
固定負債		
長期借入金	577,683	4,149,718
リース債務	4,263,187	4,413,517
転貸損失引当金	22,390	20,500
資産除去債務	657,127	670,772
その他	64,205	60,139
固定負債合計	5,584,594	9,314,648
負債合計	11,906,876	15,603,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,151,528	1,151,528
資本剰余金	1,344,671	1,344,671
利益剰余金	6,267,302	5,742,726
自己株式	△76,799	△76,799
株主資本合計	8,686,703	8,162,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,000	△1,700
為替換算調整勘定	△109,972	△117,391
その他の包括利益累計額合計	△111,972	△119,091
純資産合計	8,574,730	8,043,034
負債純資産合計	20,481,606	23,646,190

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	10,823,985	7,792,326
売上原価	4,389,638	3,244,407
売上総利益	6,434,346	4,547,919
販売費及び一般管理費	5,876,156	5,416,402
営業利益又は営業損失(△)	558,190	△868,483
営業外収益		
受取利息及び配当金	8,381	7,520
受取賃貸料	9,763	8,660
受取手数料	14,396	10,629
その他	3,743	3,807
営業外収益合計	36,285	30,618
営業外費用		
支払利息	23,439	22,436
賃貸費用	10,468	10,181
その他	4,301	1,265
営業外費用合計	38,209	33,883
経常利益又は経常損失(△)	556,266	△871,749
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	556,266	△871,749
法人税、住民税及び事業税	67,454	29,614
法人税等調整額	114,370	△376,787
法人税等合計	181,825	△347,172
四半期純利益又は四半期純損失(△)	374,440	△524,576
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	374,440	△524,576

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	374,440	△524,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	300
為替換算調整勘定	△23,526	△7,419
その他の包括利益合計	△23,540	△7,119
四半期包括利益	350,900	△531,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	350,900	△531,695

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	556,266	△871,749
減価償却費	449,102	468,894
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△989	892
賞与引当金の増減額(△は減少)	△205,000	△80,000
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△1,890	△1,890
受取利息及び受取配当金	△8,381	△7,520
支払利息	23,439	22,436
売上債権の増減額(△は増加)	113,840	△88,625
たな卸資産の増減額(△は増加)	△34,610	71,398
仕入債務の増減額(△は減少)	△211,948	160,301
その他	93,136	△46,275
小計	772,964	△372,136
利息及び配当金の受取額	1,001	226
利息の支払額	△23,630	△23,364
法人税等の支払額	△232,461	△38,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	517,873	△433,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△167,462	△476,120
無形固定資産の取得による支出	△88,320	△51,270
差入保証金の差入による支出	△40,806	△208,966
差入保証金の回収による収入	55,715	77,830
その他	△78,820	△68,817
投資活動によるキャッシュ・フロー	△319,695	△727,344
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	3,857,848
長期借入金の返済による支出	△282,161	△239,443
リース債務の返済による支出	△287,920	△288,675
配当金の支払額	△132,420	—
その他	△70	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△702,573	3,329,728
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,170	△4,671
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△508,565	2,163,736
現金及び現金同等物の期首残高	4,436,895	3,465,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,928,330	5,629,007

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,238,087	1,585,897	10,823,985	—	10,823,985
セグメント間の内部売上 高または振替高	—	—	—	—	—
計	9,238,087	1,585,897	10,823,985	—	10,823,985
セグメント利益	292,785	255,172	547,958	10,232	558,190

(注) 1. セグメント利益の調整額10,232千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,080,822	711,504	7,792,326	—	7,792,326
セグメント間の内部売上 高または振替高	—	—	—	—	—
計	7,080,822	711,504	7,792,326	—	7,792,326
セグメント損失(△)	△568,143	△88,159	△656,302	△212,181	△868,483

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△212,181千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。